

私の戦い方

秋田県横手市立横手北中学校

二年 齊藤

翠

「翠ちゃんの趣味って何？」

私は、その質問をされる度に息苦しくなる。私にとって、悪魔のような質問だった。

プライドが高く、人に「混ぜて」と言えないけれど、人一倍メンタルが弱い。それが私だった。この性格が災いして、クラスでのグループにも属せていなかった。だから、いつも色々なグループを転々として生活していた。面白い話や価値のある話をすれば一緒にいることができる。それができないときは単独行動。そのようにして一週間を過ごした。

「価値のある話」には趣味の話も含まれる。しかし、私は好きなものが日によってひんぱんに変わるため、趣味というものがなかった。どのくらいお金をかけたり、情報を集めたりしても、数日たてば興味のある対象が変わってしまう。そのうち、好きなものは違うけど、このグループにいるために、この趣味に沿った情報を得なければならぬと思うようになった。気が付けば「好きだから」集めていた情報も「自分の居場所を維持するために」集めるようになっていた。そして、少しずつ好きなものが重荷になって私を苦しめるようになり、人間関係も上手くいかなくなってきた。急に涙があふれてきたり、

精神的に不安定になったりすることが多くなった。家族に八つ当たりしてしまうこともあった。そして、教室と保健室を行き来するようになり、最終的には学校へ行かなくなってしまうた。

学校へ行かなくなつてからは、フリースクールへ通っていた。そこにはスクールカウンセラーの先生がおり、その先生がフリースクールに通う人たちに、私のことを紹介してくださった。フリースクールに通う人たちの第一印象は「明るい」ということだった。なぜ、このように明るい人たちが学校へ行けなくなつてしまったのだろうか。そう考えてしまう程だった。しかし、昔は誰にも心を開かなかつたというフリースクールの人の話を聴いて、疑問の答えに気が付いた。皆、いつも何かに苦しんで、それと戦っているけれど、決して表には出さないといいことだ。そんなことに気付かず、現実から逃げた己を恥じた。それと同時に、私は何と戦うべきなのだろうと考えた。そのとき、今まで目を背け続けた現実と向き合わなければならぬと思った。

考えながら過ごした日々の中で、印象的な出来事と言葉がある。一つ目は「行ってらっしゃい」。これは、フリースクールに通う人が、自分の好きなアーティストのライブに行くと言った友人に向けて発した言葉だった。私なら初めに「いいな」と言ってしまうだろう。でも、その人は違った。たしかに「いいな」と相手を妬ましく思ってしまうが、「行ってらっしゃい」だとそうとは思えない。言葉次第で思いは変わることを実感した。

二つ目は、朝、フリースクールへ行くために電車に乗ったときの出来事だ。めったに電車に乗らなかつたことに加え、ボタンを押して扉を開けるタイプだったので、どこかの扉から降りるのか分からなかつた。そんなとき、周りにいた乗客の方が、別の

車両の前方にある扉から降りるのだと教えてくださった。手間や時間をかけさせてしまったせいで、この方々を苛立たせてしまったのではないかと思つた。

しかし、母は「優しい人たちだ」と言つた。そこから私は、乗客の方々は手間を「かけられた」と苛立つのではなく、「かけてくれた」優しい人たちであり、伝える言葉は「謝罪」ではなく、「お礼」のほうがふさわしいのかもしれないと考えた。そして、この出来事から、思い次第で言葉や人の見方が変わることを学んだ。

「ポジティブな人は成功しやすい」と聞いたことがある。ポジティブな言葉は気持ちを持てさせてくれる。ポジティブな気持ちだと、良い態度で接することができる。だから、「嫌だ・苦手だ・怖い」は「挑戦できるきっかけ」と表すことができる。「悪魔のような質問」を「成長のきっかけを与える質問」と変えることができるように。

このような考え方をしたところで、すぐに今の状況が一変して良いものになるわけではない。それでも、自分が克服しなければならぬ物事が分かる。今の状況を打開するための試練や方法が見えるようになると思う。そして、試練が分かつたときには、現実から目を背けずに戦わなければならない。いずれ元のように学校へ通うためにも、一つずつ壁を壊して前に進まなければいけない。それにはまず、今までの自分と向き合うことから始めよう。もしかしたら、私も気付かなかつた思いがあるのかもしれない。そこから問題を見つけ、解決していこう。今までたくさん迷惑をかけてしまった周りの人に「お礼」を言うように。そしていつか、今の時期が無駄じゃなかつたと思えるように。

作文を書くに当たって

「前向きな考え方で、少しずつ悩みを解決してほしい」「周りには助けてくれる人が大勢いる」自分の体験を通じて気付いたこれらのことを伝えたかつたと同時に、現実から逃げて、戦おうとすらしめない自分にけじめをつけるため、筆をとりました。皆誰もが悩みを抱えているとは思いますが、少しでも参考になれば嬉しいです。